

事業名のサブタイトルについて

平成30年7月11日

東京経済大学 山本 聡

● 概 要

第2回有識者会議(4/23)で提案

- 事業名に聞きなれない言葉が並ぶなど、事業名が分かりにくいことが施策の理解率が低い一因
- 積極的に利用してもらうためには、“直感的にわかる名前”、“見てぱっと理解できる名前”



わかりやすいサブタイトルを付けることで
多くの中小企業の方に利用していただくことが重要

●サブタイトルを付ける事業

サブタイトルを付けたほうがよい事業とは

【ポイント】

1. 同じ意味の言葉の重複
⇒「～支援 事業」のように、言葉が重複している
2. 利用者に馴染みのない言葉
⇒専門的な言葉が並んでいて、理解しにくい
3. 漢字が多用されている
⇒漢字だけで10文字以上になっている
4. 内容のイメージが難しい
⇒抽象的な言葉が多く、内容がイメージしにくい

●サブタイトルの例(1)

1. 事業の内容を端的に表現

	事業名	サブタイトル
①	東京都BCP策定支援事業	BCP策定サポート
②	サービス産業における データ利活用促進支援事業	顧客データを活用した 生産性の向上支援

2. 日常的に使うわかりやすい表現

	事業名	サブタイトル
①	受注型中小企業競争力強化 支援事業	中小企業の受注先の拡大支援
②	団体向けリスクマネジメント 普及啓発事業	団体向けのリスク管理 に関する啓発支援

●サブタイトルの例(2)

3. 漢字を減らして、説明的に表現

	事業名	サブタイトル
①	革新的事業展開設備投資支援事業	ステップアップに向けた設備投資の助成金
②	産業立地情報収集・提供事業	産業立地情報のホームページ事業

4. 具体的な内容で表現

	事業名	サブタイトル
①	広域産業交流・連携の推進	九都県市との商談促進事業
②	新・目指せ！中小企業経営力強化支援事業	展示会への出展に関する助成